

# 母親のインチャによる 子どもの抜け毛

水野朋子

CHhom13期

インナーチャイルドセラピスト No.0623

## 要 約

今回は、子どもの抜け毛が栄養不足ではなく母親自身のインナーチャイルドが原因だと気づいたことで改善したケースについてご報告します。子どもの抜け毛が止まらないことへの不安から原因を探りました。その結果、母親からの精神的な圧力が関係していることが分かりました。母親のインナーチャイルドを癒すことで、抜け毛が止まりました。

## 主 訴

12才女子と50才母親のクライアント様です。子どもの抜け毛が止まらず、原因が分からず母子ともに不安と苛立ちを感じています。

# タイムライン

## 初期段階

お子さんの抜け毛が始まり、徐々にその量が増加。頭を洗うたびに排水口に大量の髪の毛が溜まるようになり、その状態が2週間経っても止まらなかったため、「このままでは禿げてしまうのではないか」という強い不安を覚えるようになった。

## 進行

母親は布団やバスタオルについた大量の抜け毛を毎日掃除することに苛立ちを感じていた。母親からの日常的なダメ出しが続く中で、子どもは反発しながらも、次第に母親の批判的な言葉に心をすり減らしていった。その結果、子どもは自分の存在に自信をなくし、自己否定や劣等感といった「自己卑下」の感情を抱くようになっていった。

## レメディー開始後

症状に変化なし。子どもの抜け毛の原因が栄養不足ではなく精神面であると気が付いた。そこで母親と子どもの関係を探り、これは母親のインナーチャイルドの問題が関係していると考えた。

## インナーチャイルド癒し

子どもにダメ出しをする母親の行動の根本原因は、子どもの頃に自身の母親からもダメ出しをされていたことだったと気づき、これはまさにインナーチャイルドの連鎖であった。

## レメディー選択

期間	レメディー	レメディーの説明
2週間程度	液) サポートハゲ	子どもに 髪の問題や 自己卑下に
追加 2週間程度	液) サポート自己卑下	母子ともに 自己卑下に

## 結 果

### レメディーをとって

髪の問題解決のため「液）サポートハゲ」をとったが、症状は変わらなかった。その後、髪が自己卑下によって減るということを知り、追加で「液）サポート自己卑下」をとると同時に、母親のインナーチャイルド癒しを開始した。

### インナーチャイルド癒し

母親は子どもの頃に自身の母親からもダメ出しをされていたことを思い出し、自身の子どもへの態度はまさにインナーチャイルドの連鎖であったことに気づいた。全てが母親自身の内面に原因があったと気づき、子どもに謝り、ありのままの子どもの存在を受け入れるようになった。その結果、子どもの抜け毛が止まった。

# 考 察

## 原因の発見と連鎖の解明

まず栄養不足を疑い、レメディーで改善が見られないことから、原因が精神面にあると気づいた。子どもの抜け毛は、母親が子どもの頃自身の母親から受けたダメ出しを、無意識のうちに子どもに繰り返す「インナーチャイルドの連鎖」が引き起こしていると気づいた。母親の自己卑下の価値観が、子どもへの精神的圧力や言葉による暴力となり、子どもの自己卑下と脱毛症という症状につながっていた。

## 解決へのプロセスと心の変化

母親は自身の自己卑下の価値観に気づき、インナーチャイルドを癒し、子どもを産んだ時の「生まれてきてくれてありがとう」「生きてるだけでありがたい」という初心の気持ちを思い出した。この変化により、母親は子どもに謝り、ありのままの子どもの存在を受け入れるようになった。

## 結論：魂・心・体の三位一体

母親がインナーチャイルドに向き合った結果、子どもの抜け毛が止まるという劇的な改善が見られた。これは、魂（本来の感謝の心）、心（インナーチャイルド癒し）、体（髪の毛の回復）が密接に結びついていることを示す、まさに「魂心体」の三位一体を実感したケースである。この事例を通して、髪は単なる体の一部ではなく、神経や精神状態を映し出す重要なサインなのだと結論づけられる。